

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 10 日（土） 9：58～11：48

場 所：阿野呂公民館

出席者：7 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
※質疑応答
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※質疑応答
5. 閉会

《懇談会内容》

提言：先日の災害時で停電などの復旧が長引く中、災害情報が入手できないのは不安が募った。災害情報はいち早く知りたい。阿野呂公民館を昨年立て替えたが、ここも避難所として災害時にも電気が使えたり、情報が知れたりするような身近な拠点になれば良い。

町長：他の会場でも、広報車の放送が聞こえづらかった、避難所を 16カ所開設していたが知らなかったとの声を聞いている。情報伝達手段は対策を講じたい。

提言：介護が必要な方が長期入院の必要がある場合、日赤では受け入れてもらえないと聞いた。日赤に長期入院して面倒を見てもらえるようにしてほしい。

福祉課：現在の医療では、入院医療ではなく在宅療養を勧めるのが一般的となっており、病院を介護施設化しないようにしている。病院の診療報酬にも影響がある。介護者へのケアは地域包括支援センターなど地域で進めるようにしている。日赤と連携体制をとるため、今後の建て替えの検討にあたり、日赤としてどのような機能をもたせていくのかは整理が必要。

質疑：国道沿いの工業団地内の樹木を伐採していたようだが、何か方針が変わったのか？海外の企業が入っていたと思うが、現在はどうなっているのか。

産業振興課：現在の工業団地の看板が老朽化しているほか、新工業団地を整備したことに伴い、新たに看板を建て替えるため移設場所の樹木を伐採した。企業は既に撤退している。

提言：今年の夏に（栗山町出身でお笑い芸人の）バービーさんが来た時に、PR大使になりたいとの発言があったが、その後、何か話は進んでいるのか？実家近くにも住宅を購入したとも聞いた。空き店舗などでバービーさんのグッズを販売してはどうか。

町長：バービーさんにはふるさと大使をお願いしたいと考えており、現在、担当のブランド推進課とバービーさんとの事務所で協議を進めている。秋祭り時には募金活動に参加していただいたり、購入した住宅を若い人たちが活躍できる場所として利用したいと考えたりというよ

うに地域貢献されている。駅前には「くりやまクリエイターズマーケット」があり、少しずつ町内外住民の関心を寄せており、閑散としている商店街に賑わいを生む場所として期待しているので、(グッズ販売などもシティブロモーションの一環として)連動できればと考えている。

提言：T P P 1 1 協定(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)にあたり、町職員も先進地視察などされていると思うが、町民も含めて国内外の先進地視察を行って情報を持ち帰るなどして、栗山町としてこのように進めていきたいという先を見据えた展開につなげてほしい。

意見：町内には専門科の個人病院が充実していると思う。日赤は入院病棟として存続できるよう検討を進めてもらいたい。

町長：日赤の現在の稼働率は80%、90床程度。建て替えは、この規模の病床数で考えればコスト減にもなる。広域による拠点病院化の話題もあったが、各町でも総合病院を手放す考えはないと思うので難しい状況である。

提言：外国人材の話題もあったが、栗山高校は修学旅行を海外で行うなど、国際感覚を養う教育ができるが良い。補助制度なども含めた検討をしてほしい。

提言：J R室蘭線は維持しつつ、広域自治体が連携して近隣地域間をつなげるためのバス路線を充実させてほしい。栗山町を中心地域として近隣住民にも来てもらえるようにしてほしい。

意見：栗山町スキー場がなくなってしまうのは寂しいが、長沼のスキー場でもスキー連盟における講習などが続けてもらえるのであれば良いと思う。

意見：各町の核となるような施設を広域利用できるような検討を進めてもらいたい。

町長：これまでも議論はしてきたところではある。できるところから話を進めたい。